



豊かな海を未来へつなげ！ 産官学連携のひじき・アカモク増殖施設を設置

宗像市では藻場再生やブルーカーボンの好循環モデルを形成し、全国的な普及や展開を視野に入れ、豊かな海と持続可能な未来を目指し、「藻場の保全再生」や「海洋資源を活用したブルーカーボン」、「環境学習」などの取り組みを産官学連携で進めています。

今回、この取り組みの一環として「ひじき」、「アカモク」の増殖施設の設置作業を実施します。

また、2025年日本国際博覧会（EXPO2025大阪・関西万博）開催期間中の5月28日（水）～6月1日（日）の5日間に、内閣府の展示会イベント「地方創生 SDGs フェス」が開催されます。本市の世界遺産の海を守る活動が評価され、当該イベントブース出展自治体に選定されました。

ひじき増殖試験施設説明会 概要

環境省が進める令和6年度「地域におけるブルーカーボンの取組に関する重点調査」事業として設置される「ひじき」増殖試験施設の現地説明会を開催します。全国的にも珍しい「ひじき」の増殖試験施設では、海岸に設置したロープを活用して種苗を育て、その成長を観測。ブルーカーボン効果の検証に加え、将来的な食品利用も視野に入れた施設です。

日 時：1月29日（水）15:30～16:30 場 所：宗像市上八（さつき松原）

参加者：合同会社シーベジタブル（予定）、株式会社エックス都市研究所（予定）

内 容：（1）地域におけるブルーカーボンの取組に関する重点調査について
（2）食品利用を見据えた「ひじき」の試験増殖について

アカモク増殖施設設置作業（駆除ウニから藻場再生につなげる産官学連携特別体験授業）概要

藻場の回復を妨げる駆除ウニを陸上で蓄養し、食用に育てる実証事業「宗像ウニプロジェクト」を題材に、循環型「藻場再生」実証事業の一環として、アカモクの増殖施設の設置作業を実施します。小学生が環境学習として参加し、ウニ殻の粉末を付着させた漁網にアカモクの種苗を取り付ける作業を体験します。

日 時：1月31日（金）14:10～18:00 場 所：宗像市高度衛生管理型荷さばき所

参加者：(株)高田工業所、宗像漁業協同組合、ニチモウ(株)、玄海東小学校5年生 17名、福岡県、宗像市

内 容：14:00～15:30 アカモク種苗の取り付け
15:30～18:00 増殖施設の海上設置（漁業者のみ参加）

【問い合わせ先】 ご取材いただける場合は事前にご連絡ください。

について 宗像市脱炭素社会推進課 担当：前田・根来（ねごろ） TEL：0940-36-9875

について 宗像市産業政策課 担当：藤原・緒方 TEL：0940-36-9039